

幸せ実感くまもと4力年戦略(構成)

“活力を創る”

- 【戦略1】ビッグチャンスを生かす
～県経済の力強い成長をリードします～
- 【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦
～農林水産業を再生します～
- 【戦略3】地域力を高める
～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～
- 【戦略4】未来型エネルギーのトップランナー
～新エネ・省エネの先進県をめざします～

“アジアとつながる”

- 【戦略5】アクション・アジア
～成長するアジアの市場に打って出ます～

“安心を実現する”

- 【戦略6】長寿を楽しむ
～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～
- 【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援
～熊本の未来の元気をつくります～
- 【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本
～ともに支え、ともに担う社会をつくります～
- 【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本
～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します～
- 【戦略10】災害に負けない熊本
～熊本の防災力を高めます～

“百年の礎を築く”

- 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上
～将来の州都をめざします～
- 【戦略12】悠久の宝の継承
～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～
- 【戦略13】環境を豊かに
～環境意識と行動を高めていきます～
- 【戦略14】熊本アカデミズム
～「知」の集積を「地」の活力につなげます～
- 【戦略15】夢を叶える教育
～次代を担う人材を育てます～

川辺川ダム問題・水俣病問題・行財政改革

【めざす姿】

活力溢れる元気な
くまもと

アジアの中で
存在感のある
くまもと

いつまでも楽しく、
元気で、安心して
暮らせるくまもと

誇りを持ち、
夢の実現に挑戦する
くまもと

県民幸福量の最大化

幸せを実感できるくまもと

「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」



幸せ実感くまもと 4力年戦略

2014

進 捗 レ ポ ー ト



熊本県では、平成24年6月に策定した県の取組みの基本方針「幸せ実感くまもと4力年戦略」に基づき、「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち、誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」の実現に向けた取組みを全力で進めています。

このレポートは、戦略の進捗状況（主な動きや成果等）をお伝えするために作成しました。最大限の効果を上げられるよう、「取組みの加速化」「成果の見える化」「核心を突く取組み」の3つの視点で、引き続き、市町村や県民の皆様とともに戦略を展開していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県知事 蒲島郁夫

平成26年度の主な動き

※3ページから平成25年度の主な成果を掲載しています。

“活力を創る”



“アジアとつながる”



幸せ実感くまもと4力年戦略とは

- ・県の取組みの基本方針(戦略の期間:平成24~27年度)です。
- ・前戦略(「くまもとの夢4力年戦略(平成20~23年度)」)における「**県民幸福量の最大化**」の考え方を継承しながら、さらに「**県民が幸せを実感できる**」よう、4年間で重点的に推進する主な施策を明らかにしたものです。

特徴

- ・4つの「めざす姿」を掲げ、その実現に向けた「取組みの方向性」と「15の戦略」で構成しています。
- ・「15の戦略」の進捗状況を分かりやすく示す指標(延べ77の戦略指標)と目標値を設定しています。

●詳しくはホームページをご覧ください。

幸せ実感くまもと

検索

©2010熊本県くまモン

“安心を実現する”



“百年の礎を築く”



“活力を創る”

(平成25年度の主な成果)

戦略 1

ビッグチャンスを生かす

～県経済の力強い成長をリードします～



超小型モビリティ社会実験

○次世代パーソナルモビリティに関する実証実験、次世代耐熱マグネシウム合金¹と有機薄膜²に関する5件の試作品開発など、熊本発の新製品創出につながる事業化・実用化の動きが加速。

*1 熊本大学で開発された、これまでの常識を覆す強度と耐熱性を持つ「KUMADAマグネシウム合金」のこと。
*2 有機薄膜太陽電池や有機EL、有機EL照明等に共通して必要となる技術のこと。



○JRや隣県と連携した「リメンバー九州」キャンペーンを展開。



くまもと県南フードバレー・FOODEX JAPAN 出展

○「食」関連産業の振興を通じた県南地域の活性化をめざす「くまもと県南フードバレー構想」は、推進主体となる協議会への入会者数が500超、関連企業の誘致が1件と、着実に進展。



フランス・パリ開催の「ジャパンエキスポ」ステージ

○利用商品の年間売上高が449億円を超えるなど、くまモンは引き続き大きな効果を発揮。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
リーディング企業育成数	1社(H23)	3社	➡	15.0%	20~30社
企業立地件数	91件/4年(H20~H23)	67件	➡	67.0%	100件/4年(H24~H27)
企業立地による新規雇用予定者数	5,299人/4年(H20~H23)	2,015人	➡	36.6%	5,500人/4年(H24~H27)
【補】新たな材料(有機薄膜、熊大Mg等)を活用した商品の市場化件数	0件(H23)	5件	➡	50.0%	10件
観光客総数	5,723万人/年(H22)	6,119万人/年	➡	102.0%	6,000万人/年 達成
延べ宿泊者数	647万人/年(H22)	684万人/年	➡	91.2%	750万人/年
【補】くまモンツイッターフォロワー数	5万人(H23)	33.6万人	➡	224.0%	15万人 達成

*「補足的な指標」を【補】と表示しています。

戦略 2

稼げる農林水産業への挑戦

～農林水産業を再生します～



くまもと農業アカデミー県南校(病害虫講座)

○農地集積面積、新規就農者数、法人の新規農業参入数、「くまもと農業アカデミー」の受講者数のいずれも前年度から増加し、農地集積と担い手の育成が大きく進展。



くまもとグリーン農業



○「くまもとグリーン農業¹」に取り組むことを宣言する農業者の増加、「熊本県推奨うまい米基準」の新設など、安全安心・ブランド力の強化が進む。

*1きれいで豊かな地下水や自然環境を守る環境にやさしい農業のこと。



○トマト、すいか、イチゴ、あか牛、真鯛、車エビ、天草大王など、「火の国くまもと」の「赤」をイメージさせる豊富な農林水産物やこれらを使った加工品を全国に発信。

○林建連携による77haの森林整備や約33kmの作業道開設、養殖魚のアジア向け輸出の増加など、林業、水産業でも供給力の維持・強化の成果が表れてきている。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積	—	3,952ha	➡	47.0%	8,400ha/4年(H24~H27)
新規就業者数((新規就農者+雇用就農者)+新規林業就業者+新規漁業就業者)	414人/年(H22)	743人	➡	141.3%	526人/年 達成
【補】モデル産地でのPQCの効果(水稲のコスト(水稲経営費)削減)	86,194円/10a(H22)	69,363円/10a	➡	<-16,831>	68,000円/10a
木質バイオマス加温機の導入台数	4台(H23)	64台	➡	37.6%	170台
農業への参入法人数	50法人(H22)	98法人	➡	98.0%	100法人
林建連携数(林建連携協定締結数)	35社(H22)	38社	➡	63.3%	60社
くまもとグリーン農業に取り組む農業者	2,844戸(H23)	11,797戸	➡	51.3%	23,000戸
県産農林水産物の認知度<※「くまもとの赤」の認知度>	—	20.3%	➡	58.0%	35%

戦略
3

地域力を高める

～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～



水俣湾に稚魚を御放流なさる両陛下

○「第33回全国豊かな海づくり大会」が盛会裏に終了し、本県の水産業の魅力発信に加え、約10億円の経済波及効果を生んだ。



水俣・芦北地域における産業振興と雇用確保の取組み

○水俣・芦北地域では、目標を上回る269名の雇用を達成。

○五木村では観光客数が前年比8%増、木材生産が前年度比22%増の成果。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
県内の主要な都市農村交流促進施設の年間来訪者数	531万人/年(H22)	575万人	➡	97.5%	590万人/年
新幹線利用者数(新幹線4駅の乗降客数)	637万人/年(推計値)	698万人	➡	104.2%	670万人/年
【補】ロアッソ熊本ホームゲーム1試合平均入場者数	6,928人(H23)	6,227人	➡	89.9%	前年度の平均入場者数を上回る
【補】地域づくりチャレンジ推進事業(4分野)の実施件数	74件/年(H23)	69件	➡	86.3%	80~100件/年

戦略
4

未来型エネルギーのトップランナー

～新エネ・省エネの先進県をめざします～



くまもと臨空メガソーラー

○メガソーラーの設置数が前年度以上の伸びで、中期目標(32年度・50件)を超える51件まで増加。



太陽光発電を活用した海面養殖システム

○太陽光発電を活用した海面養殖システムの実証が進み、26年度に事業者による生産・販売に移行する見込み。



○ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の会員数が約1.5倍となるなど、意識向上が着実に進んだ。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
県内への新エネルギー導入量(原油換算)	32万kL/年(H22)	41万kL/年	➡	102.5%	40万kL/年
【補】木質バイオマス加温機の導入台数<再掲>	4台(H23)	64台	➡	37.6%	170台
【補】メガソーラーの設置数	2件(H23)	51件	➡	510.0%	10件
【補】住宅用太陽光発電設備の設置率	5.63%・全国2位(H22)	10.19%・全国2位	➡	...	全国1位
県のエネルギー消費量(将来推計値)からの削減量(原油換算)	-	16万kL/年	➡	88.9%	18万kL/年
【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の会員(団体)数	304会員(H23)	505会員	➡	84.2%	600会員

“アジアとつながる”

(平成25年度の主な成果)

戦略
5

アクション・アジア

～成長するアジアの市場に打って出ます～



シンガポールでの熊本フェア



香港ハイヤー招へい商談会



韓国でのポートセミナー



熊本～高雄間連続インバウンドチャーター便ツアー出迎え

- 海外戦略を総合的に企画・推進する海外展開推進本部を設置。
- シンガポール・香港での延べ52品目の物流実証、延べ18業者・50品目の販売実証、台湾の高雄市との交流を軸にした販路拡大、知事トップセールスや物産展開催などにより、マーケットの開拓を推進。
- 熊本港、八代港のコンテナ取扱数が約20,500TEU(1TEUは20フィートコンテナ1個分)となり前年比で約25%増加。八代港では、釜山航路に3社目が新規就航、大型船舶対応の水深14m航路の推進やガントリークレーンの大型化に着手。
- 海外からの誘客について、外国人宿泊者数が前年比で約4割増加し、過去最高を記録。
- 国際航空路線の誘致・拡充について、ソウル線では就航後初となる5日連続便、台湾線では連続50便を含む過去最高となる115便のチャーター便を実現。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57(H23)	120	➡	139.5%	延べ86
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(アセアン)	延べ27(H23)	120	➡	300.0%	延べ40
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(台湾)	延べ16(H23)	54	➡	234.8%	延べ23
延べ外国人宿泊者数	33万人/年(H22)	42万人	➡	70.0%	60万人/年
うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年(H22)	40万人	➡	72.7%	55万人/年
留学生の数	575人/年(H23)	684人	➡	68.4%	1,000人以上/年

“安心を実現する”

(平成25年度の主な成果)

戦略6

長寿を楽しむ

～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～



保育所でのフツ化物洗口

○歯と口腔の健康づくりのための保育所・幼稚園でのフツ化物洗口実施率が63.5%に上昇。



訪問看護

○「熊本県地域医療支援機構」の設立による地域と熊本市内を医師が循環して勤務できるシステムづくり、訪問看護ステーションでの看護師の新規雇用(12人)、認定看護師の増加(34人)など、医療体制の整備が進んだ。

○認知症サポーターの養成率が5年連続日本一。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略6】地域の縁がわ箇所数	276か所(H23)	443か所	➡	88.6%	500か所
シルバーインストラクター登録人数	—	65人	➡	54.2%	120人
認知症サポーター活動が活性化している市町村数	12市町村(H23)	36市町村	➡	80.0%	45市町村
訪問看護ステーションがある市町村数	31市町村(H23)	42市町村	➡	93.3%	45市町村
【補】県内の自治体病院における常勤医師数	316人(H23)	321人	➡	95.5%	336人

戦略7

子どもの育ちと若者のチャレンジを応援

～熊本の未来の元気をつくります～



家庭的保育

○139人分の家庭的保育を実施。(熊本市、合志市、大津町、菊陽町で計7カ所新設)



ジョブカフェでの就職に関する相談

○就職支援を希望する高卒未就職者の就職決定率が2年連続で100%となり、ジョブカフェ利用者における就職決定数が増加。

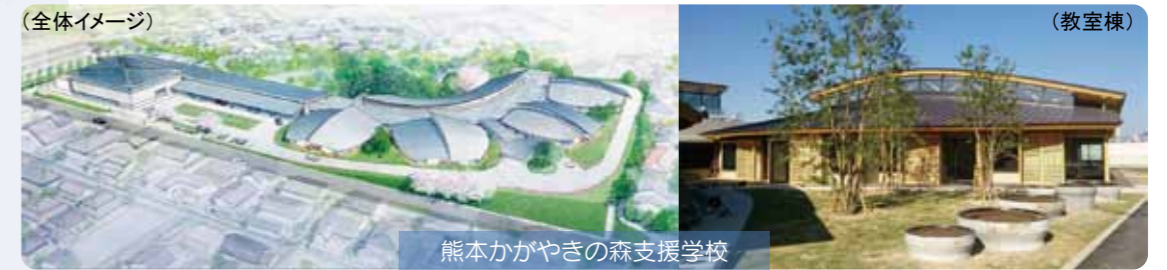
戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略7】放課後児童クラブの実施市町村数	39市町村(H23)	40市町村	➡	97.6%	41～45市町村
保育所入所待機児童数	194人(H23)	677人	➡	<+483>	0人
住民が病児・病後児保育のサービスを利用できる市町村	20市町村(H23)	25市町村	➡	55.6%	45市町村
【補】くまもと子育て応援の店・企業登録数	2,442件(H23)	2,773件	➡	86.7%	3,200件
就職支援を希望する高卒未就職者の就職決定率	97.4%(H23)	100%	➡	100.0%	100% 達成
ジョブカフェ利用者における就職決定数	1,782人/年(H23)	1,936人	➡	92.2%	2,100人/年
【補】若者サポートステーション進路決定者数	291人/年(H23)	545人	➡	136.3%	400人/年 達成

戦略8

障がいのある人が暮らしやすい熊本

～ともに支え、ともに担う社会をつくります～

(全体イメージ)



熊本かがやきの森支援学校

(教室棟)

○NICU入院児の在宅移行支援、特別支援学校7校への12人の看護師配置、県立熊本かがやきの森支援学校の新設、南部発達障がい者支援センター「わるつ」の新設など、地域での暮らしを支える体制の整備が進んだ。

○ハローワークを通じた障がい者の就職件数が25%増の1,950件となり目標を達成。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本 障がい者の日中活動系サービスの利用量(定員数)	8,709人/日(H23)	10,600人/日	➡	111.6%	9,500人/日 達成
発達障がいを早期発見するための問診票を用いた健診の実施市町村数	9市町村(H23)	45市町村	➡	100.0%	45市町村 達成
障がい者の就職件数	1,265人/年(H23)	1,950人	➡	121.9%	1,600人/年 達成

戦略9

人が人として互いに尊重される安全安心な熊本

～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します～



自殺予防ゲートキーパー養成講座

○自殺者の減少率が全国1位(-16.1%)、219人のゲートキーパー養成など、自殺予防対策が進んだ。



黄色い風車運動

○交通事故死ゼロの風を吹かせる「黄色い風車」運動を実施。○刑法犯認知件数が10年連続で減少し、刑法犯少年の検挙・補導人員も減少。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略9】安全安心な熊本 民間企業における管理職(係長以上)に占める女性の割合	23.4%(H23)	23.5%	➡	90.4%	26.0%
【補】自殺予防ゲートキーパー養成者数	240人(H23)	684人	➡	81.4%	840人
【補】県の審議会等における女性委員の登用率	37.2%(H23)	36.7%	➡	91.8%	40%
【補】育児参加に係る休暇を取得した男性職員の割合	76.7%(H22)	76.8%	➡	76.8%	100%
街頭犯罪を中心とした14罪種の認知件数	10,423件/年(H20～H23平均)	8,352件	➡	<-2,071>	過去4年間の平均認知件数を下回る 達成
24時間交通事故死者数	86人(H23)	82人	➡	<-4>	56人以下
交通事故死傷者数	13,524人(H23)	11,307人	➡	<-2,217>	11,000人以下
消費生活相談ネットワーク体制整備市町村数	10市町村(H23)	43市町村	➡	95.6%	45市町村

災害に負けない熊本

～熊本の防災力を高めます～

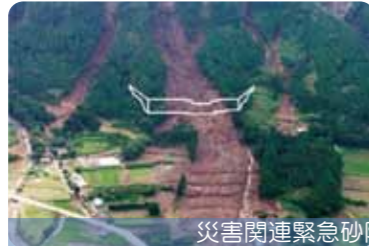


自主防災組織の活動



九州・沖縄ブロックDMAT (災害派遣医療チーム) 訓練

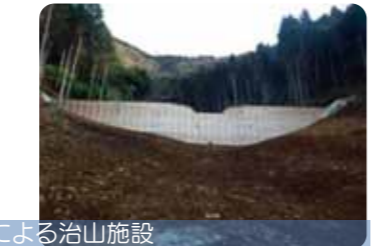
<熊本広域大水害からの復旧・復興>



災害関連緊急砂防事業により完成した砂防堰堤



県産木材を使用した型枠による治山施設



- 自主防災組織率が70%以上に上昇。防災情報メールサービスの登録者数、緊急速報メールの運用市町村数が着実に増加。
- 全市町村で「災害時要援護者避難支援計画(個別計画)」の策定を完了。福祉避難所の指定市町村数が35市町村、指定・協定施設数が223施設に増加。
- 「九州を支える広域防災拠点構想」を策定し、拠点施設の機能強化に向けた整備に着手するなど、自助・共助・公助の観点で地域防災力の向上を推進。
- 公立・私立の各学校の耐震化率が上昇し、いずれも達成度が90%を超えた。
- 熊本広域大水害を受けた白川水系の激特事業^{*1}で本格的な工事着手へ大きく前進。土砂災害警戒区域等の指定率の上昇、3.8kmの堤防整備や有明海沿岸道路の整備区間決定等の津波高潮対策など、インフラ整備が進展。

^{*1} 洪水や高潮等により大きな被害が発生した地域において、再度災害防止を図るため、概ね5カ年で緊急に河川改修を行う事業(河川激甚災害対策特別緊急事業)。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略10】災害に負けない熊本 自主防災組織率	55.2% (H23)	70.8%	➡	88.5%	80%
県立学校の耐震化率	83.1% (H23)	97.2%	➡	97.2%	100%
市町村立小中学校施設の耐震化率	82.8% (H23)	97.3%	➡	97.3%	100%
私立学校施設の耐震化率	58.9% (H23)	68.8%	➡	91.7%	75%
【補】県防災情報メールサービスの登録件数	21,355人 (H23)	25,934人	➡	64.8%	40,000人

“百年の礎を築く”

(平成25年度の主な成果)

熊本都市圏の拠点性向上

～将来の州都をめざします～



道州制シンポジウム in 熊本



水と空気がキレイだと脳にいいような気がします



九州中央自動車道 嘉島JCT～小池高山IC間

- 道州制や州都に関する周知啓発を推進。
- 新たな都市イメージ「学モン都市クマモト」の首都圏広報や「くまもと移住定住促進戦略」の策定を通じて、熊本の魅力を発信。
- 九州中央自動車道嘉島JCT～小池高山IC間の供用開始、南九州西回り自動車道と国道57号4車線化の推進、中九州横断道路・滝室坂道路と熊本天草幹線道路・本渡道路の事業化決定など、九州におけるハブ機能の強化が進展。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
熊本都市圏の拠点性向上 県・熊本市の政策連携協定数(熊本県・熊本市政策連携会議で承認された取組み数)	—	8項目	➡	<+8>	毎年度着実に増加を図る
阿蘇くまもと空港の利用者数	279万人/年 (H23)	306万人	➡	102.0%	300万人/年 達成
熊本駅の乗降客数	893万人/年 (推計値)	973万人	➡	105.8%	920万人/年 達成
幹線道路の整備進捗率(供用率)	41.5% (H23)	43.1%	➡	86.2%	50.0%

悠久の宝の継承

～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～



(万田坑)



(三角西港)



くまもと里モンプロジェクトによる支援 (満開に咲いた新八代駅前のみまわり)



水の国フォーラム(水の民“協働”アピール)

- 万田坑、三角西港を含む「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産推薦が決定。
- 「阿蘇の草原の維持と持続的農業」が世界農業遺産に認定。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略12】悠久の宝の継承 文化施設の利用者数	94.8万人/年 (H23)	98.9万人	➡	98.9%	100万人/年
世界文化遺産登録に関連する資産の国指定(選定)件数	5か所 (H23)	12か所	➡	85.7%	14か所
【補】松橋収蔵庫フィールドミュージアム事業における参加者数	1万人/年 (H23)	2.5万人	➡	125.0%	2万人/年 達成
【補】細川コレクション永青文庫展示関係の入場者数	3万人/年 (H23)	3.9万人	➡	97.5%	4万人/年
熊本地域の地下水涵養増加量(白川中流域水田湛水事業等による涵養量)	2,065万m ³ (H23)	1,931万m ³	➡	53.6%	3,600万m ³
【補】景観行政を行う市町村数	7市町村 (H23)	9市町村	➡	56.3%	16市町村
【補】野焼き・輪地切りボランティア参加者数	2,137人/年 (H22)	2,386人	➡	76.1%	3,137人/年

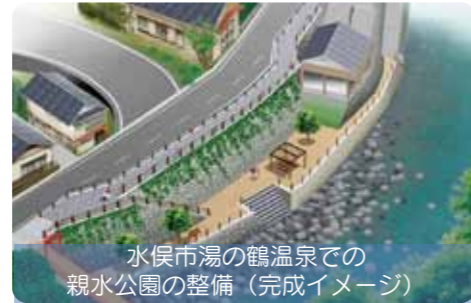
戦略 13

環境を豊かに

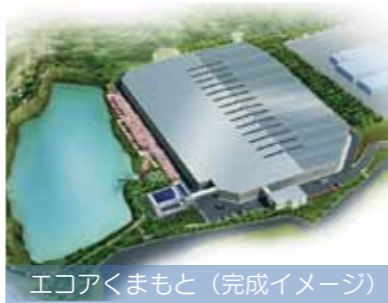
～環境意識と行動を高めていきます～



水俣病慰霊の碑に花を捧げる各国参加者



水俣市湯の鶴温泉での親水公園の整備（完成イメージ）



エコアくまもと（完成イメージ）

○「水銀に関する水俣条約外交会議」に140カ国・地域の関係者1,000人以上が参加して同条約が採択。国内外への情報発信を通して、水俣病問題や環境復元の取組みに対する認知度や理解が向上。

○自然環境再生や景観向上に配慮した事業を推進する「みどりの創造プロジェクト」に新たに16カ所で着手。

○南関町で公共関与最終処分場「エコアくまもと」の建設が開始。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
有明海・八代海の水質基準の達成度(OOD)	72.2% (H22)	72.2%	→	72.2%	100%
有明海・八代海の水質基準の達成度(全窒素・全リン)	83.3% (H22)	66.7%	→	66.7%	100%
一般廃棄物排出量	57万9千トン/年 (H21)	56万5千トン/年	→	<-14,000>	57万2千トン以下/年 達成
【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の会員(団体)数<再掲>	304会員 (H23)	505会員	→	84.2%	600会員
【補】環境センターの来館者数及び出前講座の受講者数	157,372人/4年 (H20～H23)	82,576人	→	50.4%	164,000人/4年 (H24～H27)

戦略 14

熊本アカデミズム

～「知」の集積を「地」の活力につなげます～



世界チャレンジ支援基金を活用した海外派遣

○官民出資の世界チャレンジ支援基金を活用した若手芸術家(7名)や高校生(15名)の海外派遣、大学コンソーシアム熊本等との連携による留学生支援ネットワークの拠点開設など、海外との交流促進に向けた仕組みづくりが進展。



中学生英語音声CD

○本県独自の英語教材の活用等の効果から、英語が「好き」「分かる」と回答した中学生の割合がいずれも上昇。

○6件の研究開発部門誘致、県立大学と国立水俣病総合研究センターとの連携大学院協定締結、5名の新たな「くまもと未来会議」委員の招へい等により、知の結集・集積を推進。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
研究開発部門の企業立地件数	9件/4年 (H20～H23)	12件	→	120.0%	10件/4年 (H24～H27) 達成
海外高校への留学生数	10人/年 (H23)	34人	→	34.0%	100人/4年
英語の学習が「好き」と回答した生徒(中1～中3)の割合	46.9% (H23)	50.1%	→	<+3.2>	毎年度、前年度の割合を上回る 達成
英語の学習が「分かる」と回答した生徒(中1～中3)の割合	46.4% (H23)	49.4%	→	<+3.0>	
留学生の数<再掲>	575人/年 (H23)	684人	→	68.4%	1,000人以上/年

戦略 15

夢を叶える教育

～次代を担う人材を育てます～



地域の寺子屋

○ひとり親家庭等の子どもたちの環境づくりとして、100以上の「地域の寺子屋^{*1}」の仕組みづくりや、107カ所の「応援の塾^{*2}」の登録、23カ所の「地域の学習教室^{*3}」の開所などが進展。

*1 地域の方々による学校を支援するしくみの総称。

*2 ひとり親家庭の子どもたちに対し、受講料の割引制度を設けている塾のこと。

*3 ひとり親家庭等の子どもたちに、最寄りの地域で学びの場・安らぎの居場所を確保・提供するもの。



熊本時習館海外チャレンジ塾

○海外進学を総合的に支援する体制として、新たに「熊本時習館海外チャレンジ塾」を開講し、5名が海外大学に進学。

○いじめや不登校などの予防や解決に取り組むスクールソーシャルワーカー(SSW)やサポーターを各学校等に配置。

○県内全域で「親の学び」講座を開催。前年度比約10%増の3万8千人超が参加。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H26年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
教科の学習が「好き」と回答した児童(小3)の割合	77.8% (H23)	75.5%	→	<-2.3>	毎年度、前年度の割合を上回る
教科の学習が「分かる」と回答した児童(小3)の割合	83.4% (H23)	82.8%	→	<-0.6>	
【補】「親の学び」講座実施率	50.3% (H23)	66.0%	→	94.3%	70%
海外高校への留学生数<再掲>	10人/年 (H23)	34人	→	34.0%	100人/4年
ものづくりチャレンジ事業・高校生の就業支援等プロジェクトの受講児童・生徒数	1,432人/年 (H23)	1,580人	→	92.9%	1,700人/年



水くは、1月6日付けで「熊本県しあわせ部長」に就任し、営業部長と兼任することになったモン「しあわせ部長」の最初の仕事は、

- みんなの笑顔につながる幸せづくりのアイデア(アイデアソン)を集めること。
- 日常のプチはっぴーを集めてみんなと共有すること。

就任のご挨拶

「県民幸福量の最大化」を実現するためには、県民の皆さんが身近にある幸せのタネに気づき、それぞれの幸せの形を考えることが大切だと考えています。熊本県しあわせ部は、県民の皆さんに「自分や地域にとって、幸せとは何か？」を考えてもらい、一人ひとりが主役となった幸せづくり活動が行われることをめざしています。

データ I データで見える戦略の推進状況について

データ I

戦略指標の動向(まとめ)

～延べ77の戦略指標の戦略策定時と評価時の比較～

全体では69指標が上向き、1指標が横ばい、7指標が下向きとなりました。
また、うち19指標が最終年度(平成27年度)の目標値を達成しました。

取組みの方向性	指標数	上向き 👉	横ばい ➡	下向き 👎	目標値達成
全体	77	69 (90%)	1 (1%)	7 (9%)	19 (25%)
活力を創る	24	21 (88%)	1 (4%)	2 (8%)	6 (25%)
アジアとつながる	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)
安心を実現する	27	25 (93%)	0 (0%)	2 (7%)	6 (22%)
百年の礎を築く	23	20 (87%)	0 (0%)	3 (13%)	6 (26%)

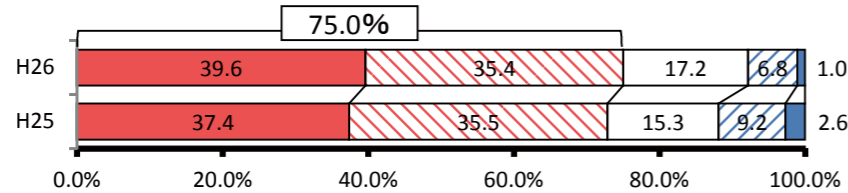
データ II

県民アンケート結果

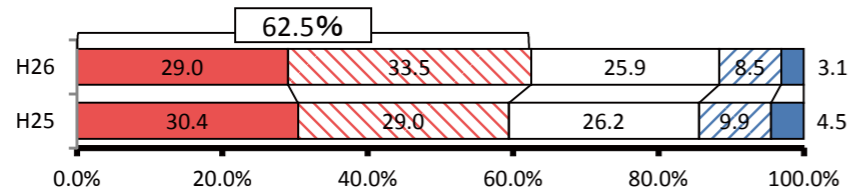
～「幸せ実感くまもと4力年戦略に関する意識調査」の結果～

平成26年6月に県内在住の満20歳以上の男女1,500人を対象に実施した県民アンケートにおいて、「めざす姿」に近づいているかどうかの問に対する回答の結果は次のとおりでした。

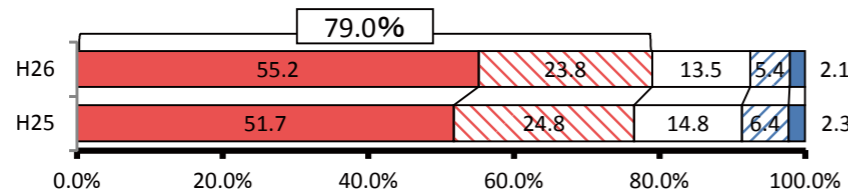
ア “活力を創る”⇒「活力溢れる元気なくまもと」



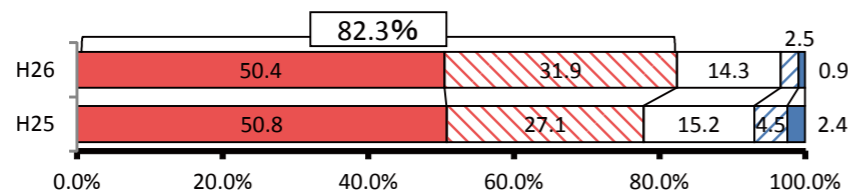
イ “アジアとつながる”⇒「アジアの中で存在感のあるくまもと」



ウ “安心を実現する”⇒「いつまでも楽しく、元気で、安心して暮らせるくまもと」



エ “百年の礎を築く”⇒「誇りを持ち、夢の実現に挑戦するくまもと」



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらでもない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

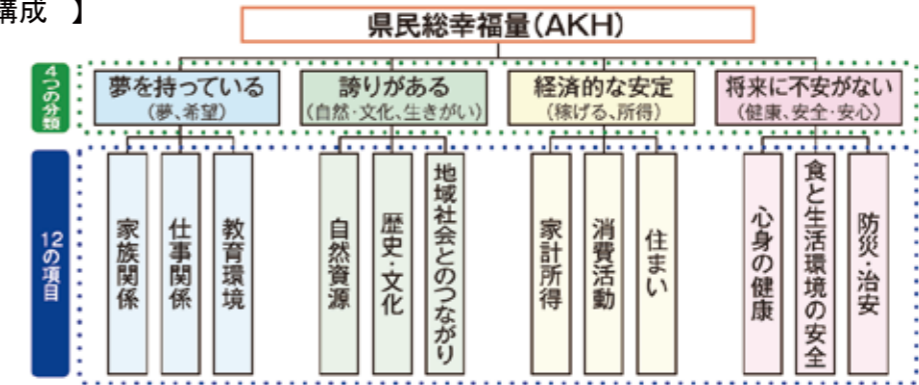
データ III

県民総幸福量(AKH:Aggregate Kumamoto Happiness)

～「県民の幸福に関する意識調査」に基づく県民の幸福量の算出～

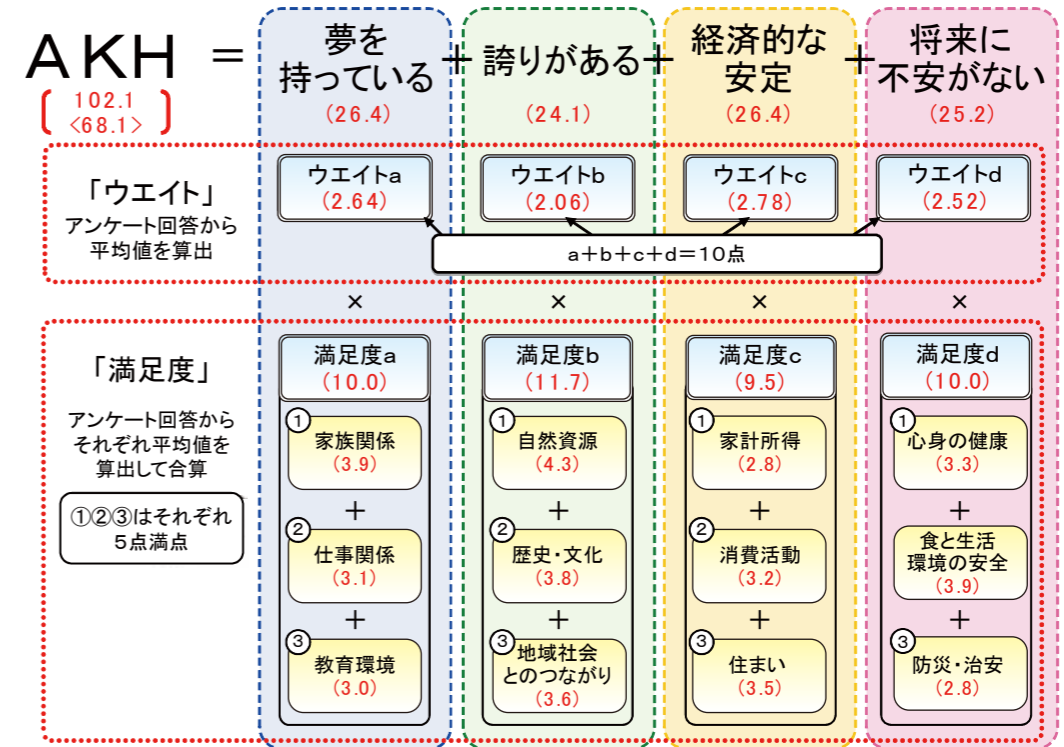
- “県民総幸福量(AKH)”とは、蒲島県政の基本理念である「県民幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげるために、県民幸福量を測る総合指標として作成しているものです。
- 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、その要因ごとの「満足度」やどの程度それを重視するかという「ウエイト」を県民アンケートにより測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組みです。

【 AKHの構成 】



【 AKHの計算式と算出結果(H26) 】

平成26年5月に県内在住の満20歳以上の男女3,500人を対象に実施した県民アンケート「県民の幸福に関する意識調査」に基づいてAKHを算出した結果は**102.1**※でした。
※計算上、最高が150となるため、100を最高に換算すると**68.1**。



【 AKHの推移 : H24 ⇒ H26 】

